

☑=対象(記述がないものは誰でも可) ☑=定員  
 ④=参加費または入場料(記述がないものは無料)  
 ⑤=持ち物 ⑥=申し込み ⑦=当日、直接会場へ(事前申し込み不要)

☆おいでください

■上尾市民吹奏楽団第26回チャリティーコンサート 2月5日(日)午後1時30分～、文化センター大ホール ④千人(先着順) ⑤500円(小学生以下と60歳以上の人は無料) ⑦⑧大木園090-1851-8561 **ひと言!** お子さんから年配の人までお楽しみいただけるプログラムです。

■第10回記念「ひだまりの小さな書作展」 2月14日(火)～17日(金)午前9時～午後5時、コミュニティセンターロビー ④⑤⑦⑧有松園090-8443-9494 **ひと言!** 10周年の記念にて300点余りの作品を展示します。

■感動が心の扉を開く(家庭倫理講演会) 2月11日(祝)午後1時30分～3時30分、文化センター小ホール ④165人(先着順) ⑤千円 ⑦⑧天津園772-0743(午後3時以降)

**ひと言!** 家庭の意義や夫婦・親子の心の在り方・向け方の講演会です。

■フラダンス無料体験 2月15日(水)午後1～3時、市民体育館会議室 ④⑤⑦⑧車木園775-6844 **ひと言!** 初心者歓迎します。

☆いきいきサークル 会員・団員募集

●薫藤会 毎月2回金曜日午後1時30分～3時30分、上尾公民館 月額1,400円 藤牧園775-6650 **ひと言!** 藤原道長の栄華と、その一族の歴史物語『大鏡』を読む。

●ステップアップ英会話 毎月3回火曜日①午後7時～8時15分②8時15分～9時30分、原市公民館 月額3千円 関田園722-8881(午後10時まで) **ひと言!** 中級、上級レベル各クラス1時間15分。

●すずらんの家(筆ペン・ボールペン習字) 毎月2回午前10時～11時30分、①月曜日/原市公民館②火曜日/コミュニティセンター③水曜日/大谷公民館 月額2千円 藤波園080-5182-0725 **ひと言!** ゆっくり基礎を学び、年賀状などを練習してみませんか。

●はやみ暮友会 毎週日曜日午前10時～正午、西上尾第二団地集会所 月額1,250円(入会金千円) ④市内に在住の人 黒木園725-4750 **ひと言!** 講師講義の後、指導暮、指名対局。午後2時まで自由対局も可能。

●上尾あすまミニバスケットボール 毎週火・金曜日午後5～7時、東町小学校他 月額1,500円(入会金千円) ④小学生 永井園772-7647(午後6時以降) **ひと言!** バスケットを通じて心と体を成長させてみませんか。無料体験あり。

●メンズクッキング 毎月第4水曜日午前9時～正午、大谷公民館 月額2千円 ④原則60歳以上の男性 岡田園725-3699(午後4時以降) **ひと言!** 楽しく作って、おいしく食べて、明るく健康!

●なかよしBANBAN(家庭料理) 毎月第2水曜日午前9時～正午、上平公民館 月額1,500円(入会金千円) 神田園773-4609(午後7時以降) **ひと言!** 和・洋・中・お菓子と毎月楽しいですよ。まずは体験入会を。

●ゲートボール愛好会 毎月第1水曜日午前8時30分～午後2時(雨天の場合は延期)、平塚サッカー場 年額500円 ④60歳以上の人 神田園773-0641(午後8時まで) **ひと言!** 新しく始める会です。個人またはチーム参加も可。初心者歓迎。

アップーNetは市民の皆さんの  
情報交換のお手伝いの場です

⇨広報課(☎775-4918・☎776-8873)

催し物のお知らせやサークルの会員・団員募集にアップーNetを活用してください。申込書(広報課(市役所3階)にある)に必要事項を記入して、直接か郵送またはファクスで広報課へ

市民のひろば

まごがど  
特派員  
だよー

こもれび交流会



福島 京子さん  
(大石地区)

「木漏れ日」。ちよつとすてきな言葉だと思いませんか。大石地区には木漏れ日がいりいろな所に降り注いでいます。  
 大石地区には市社会福祉協議会大石支部の支部だよー「こもれび」、見守り活動「こもれびネットワーク」「こもれび交流会」があります。  
 昨年12月7日、大石公民館で「こもれび交流会」が開かれ、単身の65歳以上の入会者66人が参加しました。午前中は世代間交流として、カオル幼稚園の年長園児11人が歌やリズム運動を披露しました。その後園児たちは手作りの「肩たたき券」「手もみ券」を配って、じゃんけん勝負したお年寄り



お年寄りの肩たたきをするカオル幼稚園の園児

活改善推進員協議会大石支部の皆さんによる手作りのお弁当を頂きました。「ゆかりごはん」や「治部煮」などのおかずが7品、お吸い物も付いて、ヘルシーでおいしく、ほとんどの人が残さず食べていました。食事をしながらのしゃべりもおいしく食べられる隠し味だったのかも。午後は参加者が大正琴の演奏に合わせて『北国の春』など5曲を歌いました。歌

はみんなの心を一つにしてくれる魔法だと感じました。  
 高齢になると閉じこもりがちになるので、このように集う機会はとても良いことです。閉じこもりをなくすには、地域に話せる友達を持つこと。地域が仲良くなるためには、声掛けをしていくことが大切で、「こもれびネットワーク」が充実していくことはとても重要になるのではないのでしょうか。

手編みのセーターを  
児童養護施設に贈呈

スポット  
ライト  
～人・仲間～

「自分の子どもにあげるような気持ちでセーターを編んでいます」。そう語るのは、ボランティアグループ「アミティ」の代表を務める渡辺英子さんです。平成11年から趣味の編み物でセーターを作り、熊谷市にある児童養護施設「雀幸園」に提供したのをきっかけに仲間を募り、現在は9人で活動しています。  
 娘の通っていた高校で、カエルのアップリケを作り、同園の子どもたちに提供していたことを聞き、自分にも何か施設のためにできないかと始めました。  
 現在は同園や市内にある児童養護施設「若竹ホーム」の卒園予定の



渡辺 英子さん  
(東町)

子どもたちには手作りセーターを、在園中の子どもたちにはマフラーや帽子、ベスト、人形などを贈呈しています。  
 毎年卒園生の人数や性別、サイズを把握し、それに合わせて1年かけて作成しています。余った毛糸で帽子などの小物も編んでいます。「無理をせず自分の生活の負担にならないペースで楽しみながら編むことが長続きの秘訣ですが、早い人は1カ月で1着セーターを編みます」  
 材料の毛糸を寄付や自分たちで持ち寄っているため、成人用着分がなかなか集まらないことが悩みです。それでも工夫しながら編んでいます。「使っていない成人用着分の毛糸(新品)があれば、コミュニティセンター内のボランティアアビュロー(☎776-11988)に連絡してほしい」と話して



アミティの仲間と一緒に(前列左が渡辺さん)

和気あいあいと心を込めながら

ていました。  
 「仲間と教え合いながら和気あいあいと活動しています。最近は何でも安く手に入りますが、既製品にはない手作りの温かさを感じてもらうために、子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、心を込めて編んでいます」と話してくれました。